

バローHD 28年に前倒し

スーパー 関東初出店へ

売上高 1兆円目標

バローホールディングス（HD）は売上高に当たる営業収益1兆円の目標の達成を、当初計画の2030年3月期から28年3月期に2年前倒しする。関東での出店を強化し、今期中にスーパーマーケットのバローを関東に初出店する。関西はドラッグストアを含めグループで出店攻勢をかける。

（松浦健司）

名古屋市内で13日開いた25年3月期連結決算の記者会見で発表した。小池孝幸社長は「コストが上がり苦しい時代だが、守りに入るのではなく、ここが攻め時。」

人口の集積している場所に足を踏み替えていく」と語った。

これまででは関西への出店を強化してきたが、今後は関東にも進出して店舗網を

広げる。関東では、16年にグループ化した山梨県地盤のスーパーの公正屋（山梨県上野原市）が19年に神奈川県に出店したほか、同年には千葉県でスーパーを運営するてらお食品（千葉県八千代市）をグループ化し基盤を整えた。関東の25年3月期の売上高は180億円だったが、早期に500億円を目指す。

スーパーのバローは当面、神奈川県郊外に出店し、鮮魚や野菜、精肉の生鮮食品の品ぞろえを前面に

押し出す。小池社長は「他社は総菜が強いが、われわれの生鮮は関東でも通用する」と自信を見せる。

攻勢を強める関西5府県（大阪、京都、兵庫、奈良、和歌山）は、27年3月期までの中期経営計画で500億円に引き上げる計画だったが、2倍の1000億円に修正した。関西の25年3月期の売上高は、前期比41・6%増の470億円と500億円近くまで成長、店舗数は85店から117店に拡大した。

関東や関西への新規出店の増加に伴って人材確保も進める。27年4月入社以降の新卒、社会人の採用を計1000人と、25年春入社の681人から大幅に増やす。小池社長は「関東、関西に採用拠点を作りたい」と話す。

県内企業2025年3月期決算

	売上高		経常損益		純損益		配当
バローHD							
(連)	854,435	(5.8)	26,179	(2.2)	13,654	(14.3)	68.00
(予)	902,000		28,000		14,000		70.00
ムトー精工							
(連)	27,574	(4.8)	2,579	(6.0)	1,510	(▲14.8)	94.50
(予)	25,500		2,250		1,580		90.00

【注】単位は百万円、%、配当は円。(連)は連結、(予)は2026年3月期予想。かっこ内は前期比増減率。▲はマイナス。